

医療関連のスタートアップ企業「トータルブレインケア（神戸市）」は、高齢者が約5分の簡単なテストで認知機能を手軽にチェックできるクラウドサービスを本格展開する。結果は点数化され、継続的に記録できるため、認知機能の衰えを早期発見しやすい。介護スタッフや医師、家族と認知症の進行度合いを共有でき、適切な介護やリハビリにつなげられる。

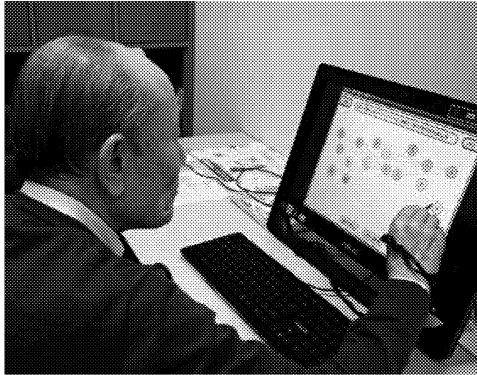
## トータルブレインケア

# 介護施設、把握に活用

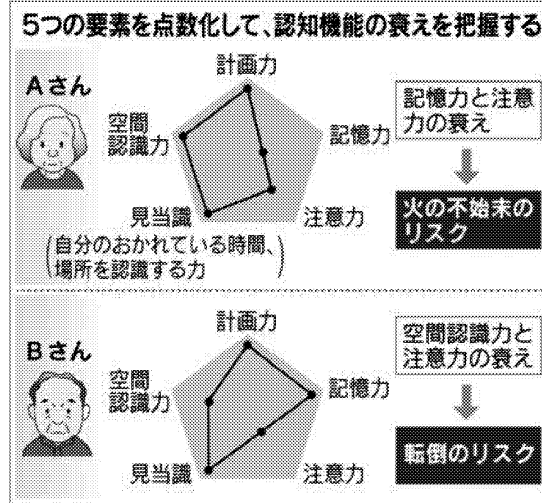
「通常、高齢者は認知機能が低下するのを嫌がる。これは頭の健康チェックという感じで手軽に受けてもらえる。テスト問題も毎回変わるのだから、介護支援室長は話す。20人のうち、認知機能と関わりのある12種類を活用し、マウス操作も可能だが、より正確な結果を求めるためタッチパネル式のパソコンやタブレット（多機能携帯端末）、スマートフォン（スマホ）での利用を推奨する。既存の他社サービスは似た問題が繰り返され、利用者や介護スタッフが難しい問題も検査するのが難しいケースのほか、認知症かどうかの判断はできても、過去にさかのぼり衰えの程度をみることもできないものが多いという。CogEvoは画面上に4色のライトが光った順番を再現する「フラッシュライト」や、数字を

# 認知症手軽にチェック

## ネットでゲーム感覚



「脳活バランサー CogEvo」は手軽に認知機能をチェックできる（神戸市）



「通常、高齢者は認知機能が低下するのを嫌がる。これは頭の健康チェックという感じで手軽に受けてもらえる。テスト問題も毎回変わるのだから、介護支援室長は話す。20人のうち、認知機能と関わりのある12種類を活用し、マウス操作も可能だが、より正確な結果を求めるためタッチパネル式のパソコンやタブレット（多機能携帯端末）、スマートフォン（スマホ）での利用を推奨する。既存の他社サービスは似た問題が繰り返され、利用者や介護スタッフが難しい問題も検査するのが難しいケースのほか、認知症かどうかの判断はできても、過去にさかのぼり衰えの程度をみることもできないものが多いという。CogEvoは画面上に4色のライトが光った順番を再現する「フラッシュライト」や、数字を

「記憶力」「計画力」「空間認識力」「見当識」「自分のおかれている時間、場所を認識する力」という5要素だ。例えば見当識と注意力、記憶力が衰えると徘徊（はいかい）のリスクが高まる。各要素の結果がレーダーチャートで表示され、保存したデータから過去の変化もグラフ化される。医師や家族とも共有でき、リハビリの効果を確認したり遠隔から状況を把握したりできる。CogEvoは画面上に4色のライトが光った順番を再現する「フラッシュライト」や、数字を

## 震災・リーマンを経て起業

トータルブレインケアと決めて事業内容を変更した河越真介社長（56）は、シビックハウス対策を施した住宅を供給した。リーマン・ショックで工務店の撤退を余儀なくされた後も社会課題の解決への思いは継続。妻の裕子さんが経営するサブ